

株式会社三菱地所設計 空気調和・衛生設備工事特記仕様書別冊対応表（2003）

株式会社三菱地所設計 空気調和・衛生設備工事特記仕様書別冊（2003）		三菱電機標準仕様	対応内容	備考 (注意事項)
1 仕様書の適用	<p>第1編 一般共通事項 第1章 一般共通事項 第1節 一般事項</p> <p>a. 本仕様書は、「三菱地所設計 空気調和・衛生設備工事 特記仕様書別冊」（以下、「特記仕様書別冊」）と呼ぶ。</p> <p>b. 設計図および特記仕様書、特記仕様書別冊に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」或いは「共仕」）の平成13年度版による。但し、第1編一般共通事項は、「共通仕様書」第1編一般共通事項に代わり総て本仕様書を適用する。</p>	—————	<p>・国土交通省仕様と同じ対応とする。</p> <p>※国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」平成16年版公共建築工事標準仕様対応表 EYNT-14084 による。</p>	
1 一般事項	<p>第3編 空気調和設備工事 第1章 機器設備工事 第1節 一般事項</p> <p>a. 機器設備に関する本書記載事項以外については共通仕様書第3編第1章及び第2章に準ずる。</p> <p>b. 冷凍機に使用する冷媒は、地球環境に悪影響の少ない冷媒とする。使用する冷媒および吸収液は以下による。</p> <p>2)チリングユニット ハイドロクロロフルオロカーボン（フロン22）、ハイドロフルオロカーボン（フロン134a）など。</p> <p>c. 各冷凍機は運転時の騒音、振動が少ない構造とし、据付後騒音・振動の試験を行う。</p>	<p>—————</p> <p>b. ハイドロフルオロカーボン（フロン407C）を使用。</p> <p>c. 試運転は製品に該当しない。</p>	<p>a. 標準品のままとする。</p> <p>b. 標準品のままとする。</p> <p>c. 標準品のままとする。</p>	

(1/3)

作成日	2006年10月10日		
作成	照査	設計	検認
岡本	石本	石本	大塚

EYNT-14092

株式会社三菱地所設計 空気調和・衛生設備工事特記仕様書別冊（2003）	三菱電機標準仕様	対応内容	備考 (注意事項)	
<p>空冷チリングユニット</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>空冷チリングユニットについては結露防止のため、「空気熱源ヒートポンプ」に準拠した。</p> </div>	<p>d. 冷凍機は設計図書的能力を確保し、負荷変動に対して十分安定した運転のできる性能および構造とする。</p> <p>e. 十分な耐圧を有し、取扱上危険のない構造とする。</p> <p>f. 日常の保守点検整備及び故障時の対処が容易な構造とする。</p> <p>g. 地震時における安全性を確保できる構造とする。</p> <p>h. 原則として省エネルギー形機器を使用し、その成績係数については設計図による。</p> <p>i. 初期充填用冷媒、溶液、油を納入し、据付状態における試運転を行う。</p> <p>第4節 冷凍機</p> <p>a. 構成（防錆対策） 外板はアクリル樹脂塗装、メラミン焼付塗装、エポキシ樹脂塗装などの適正な防錆処理を行い、取付けビスはSUS製とする。</p> <p>b. 空気熱源蒸発器兼空冷式凝縮器は、冬期蒸発器としての使用条件において、伝熱面積の選定および管・フィン構造・配列などを考慮した結霜しにくいものとする。又結霜が発生した場合、自動的に霜を除去する装置を備える。なお、フィンはアクリル樹脂被膜等による耐食表面処理を行う。フィンに損傷のおそれのないように適当な防錆処置を施す。ケーシングは、アクリル樹脂塗装、エポキシ樹脂塗装等の防錆処置を行った鋼板製またはFRP製とする。</p>	<p>d. 三菱地所仕様と同じ</p> <p>e. 三菱地所仕様と同じ</p> <p>f. 三菱地所仕様と同じ</p> <p>g. 三菱地所仕様と同じ</p> <p>h. _____</p> <p>i. 冷媒、油は充填して納入。試運転は製品に該当しない。</p> <p>a. 外板には、高耐食溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板を使用。（無塗装）</p> <p>取付けビスはSUS製を基本とするが、圧縮機、配管フランジ部等トルク管理を必要とする部位、電気部品に鉄製を使用。ナット・ワッシャーは耐食処理（JDコート）品を使用している。</p> <p>b. 三菱地所仕様と同じ 但し、冷房専用機なので、暖房機能はない。 ・フィンの材質はJIS H4000による。 ・フィンの表面は無処理。 ・ケーシングは高耐食溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき鋼板を使用。（無塗装）</p>	<p>d. 標準品のままとする。</p> <p>e. 標準品のままとする。</p> <p>f. 標準品のままとする。</p> <p>g. 標準品のままとする。</p> <p>h. 標準品のままとする。</p> <p>i. 標準品のままとする</p> <p>a. 高耐食性鋼板を使用しているが、更にポリエチレン粉体塗装による防錆処理を実施する。</p> <p>・標準品のままとする。</p> <p>b. 標準品のままとする。</p> <p>但し、フィンの表面は樹脂コーティングにより耐食処理を施した物を使用する。</p>	<p>基礎ボルトの耐震強度。</p> <p>〔水平1.0G〕 〔垂直0.5G〕</p> <p>なお、地震中の運転は不可。</p>

株式会社三菱地所設計 空気調和・衛生設備工事特記仕様書別冊（2003）	三菱電機標準仕様	対応内容	備考 (注意事項)
チリングユニット	<p>a. 付属機器及び付属品            本節第1項「ターボ冷凍機」に準ずる。尚、油圧計は必要に応じてつけるものとする。</p> <p>本節第1項「ターボ冷凍機」</p> <p>d. 付属機器及び付属品は共通仕様書に加えて下記による。</p> <p>1) 電動機盤 1面</p> <p>2) 付属品</p> <p>イ) 圧力計および連成計 1式</p> <p>ロ) 防振装置（振動絶縁効率80%以上、転倒・移動防止金具付） 1式</p> <p>ハ) 冷媒ガス漏えい検知警報装置 1式</p> <p>b. 試験・検査            据付後、騒音・振動の試験・検査を行う。</p>	<p>1) 電動機盤は備えていない。</p> <p>2) イ) 高圧、低圧の圧力計を備えている。            油圧計は、強制潤滑方式でないため不要につき備えていない。</p> <p>ロ) 防振装置は付属していない。</p> <p>ハ) 警報装置は備えていない。</p> <p>b. 製品に該当しない。</p>	<p>1) 標準品のままとする。</p> <p>2) イ) 標準品のままとする。</p> <p>ロ) 標準品のままとする。</p> <p>ハ) 標準品のままとする。</p> <p>b. 標準品のままとする。</p>

株式会社三菱地所設計 空気調和・衛生設備工事特記仕様書別冊（２００３）	三菱電機標準仕様	対応内容	備考 (注意事項)
チリングユニット	<p>a. 付属機器及び付属品 本節第１項「ターボ冷凍機」に準ずる。尚、油圧計は必要に応じてつけるものとする。</p> <p>本節第１項「ターボ冷凍機」</p> <p>d. 付属機器及び付属品は共通仕様書に加えて下記による。</p> <p>1) 電動機盤 １面</p> <p>2) 付属品</p> <p>イ) 圧力計および連成計 １式</p> <p>ロ) 防振装置（振動絶縁効率 80%以上、転倒・移動防止金具付） １式</p> <p>ハ) 冷媒ガス漏えい検知警報装置 １式</p> <p>b. 試験・検査 据付後、騒音・振動の試験・検査を行う。</p>	<p>1) 電動機盤は備えていない。</p> <p>2)</p> <p>イ) 高圧、低圧の圧力計を備えている。 油圧計は、強制潤滑方式でないため不要につき備えていない。</p> <p>ロ) 防振装置は付属していない。</p> <p>ハ) 警報装置は備えていない。</p> <p>b. 製品に該当しない。</p>	<p>1) 標準品のままとする。</p> <p>2)</p> <p>イ) 標準品のままとする。</p> <p>ロ) 標準品のままとする。</p> <p>ハ) 標準品のままとする。</p> <p>b. 標準品のままとする。</p>